広報
いながわ
第662号
11月15日
平成15年
（2003年）
毎月1日・15日発行
編集・発行　猪名川町 企画部 広報コミュニティ課
〒666－0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11－1　電話番号 072（766）8707　ファックス番号 072（767）2255
ホームページアドレス（URL）http://www.town.inagawa.hyogo.jp　電子メールアドレス　koho@town.inagawa.hyogo.jp

バラット市との姉妹都市提携15周年

未来に向かって友好関係を深めよう

15周年記念協定書にサインする真田保男町長（左）とティヴィッド・ヴィンディ バラット市長（右）

猪名川町とオーストラリア・ビクトリア州バラット市は、昭和63年8月1日に姉妹都市提携を締結し、今年で15周年を迎えました。

この15周年を記念して、11月4日、文化体育館で記念式典が行われました。両市町のこれまでの交流の成果を再確認し、将来にわたって交流の輪を広げていくことや相互協力の精神を、今後も深めることなどを確認しました。

今回来町されたのは、ディヴィッド・ヴィンディ市長やジョン・マクレーン市政長官をはじめとする総勢21人です。

親善訪問団は、11月2日から同5日までの4日間滞在され、町国際交流協会主催の歓迎昼食会をはじめ、B&G財団海洋センター・ゆうあいセンターなど町内施設の視察、住民との交流を図るため「いながわまつり」へ参加されるとともに、バラット市マウントクリア高校との姉妹校である猪名川高校を訪問するなど、ハードスケジュールの中、住民と幅広く交流を深めました。

▲15周年記念として「ユウカリ」の木を記念植樹（総合公園）

記念式典で多様な交流を再確認

15周年記念式典では、両国の国歌斉唱に続き、両市町長ら代表者のあいさつ、訪問団の紹介、15周年記念協定書の調印、記念品交換などが行われました。

この式典の中で、真田町長は、「将来に渡ってさらに交流の輪を広げたい」とあいさつ、ディヴィッド・ヴィンディ市長も「住民同志の交流をもっと進めたい」と語りました。

また、町内で活動する「鶴の会」による「三味線」の演奏と、猪名川中学校の生徒および卒業生によるサキソフォーン四重奏」の演奏を披露しました。

姉妹都市提携 15周年記念協定書の抜粋

我々は、今後の姉妹都市友好関係をさらに強めるために、次の事項について確認する。

○文化交流においては、芸術作品の相互交流や民間団体同士の交流機会を検討する。

○経済交流においては、阪神間の窓口としての経済交流の機会と互いの利益となる経済活動の発展を模索する。

○観光においては、相互に共通する鉱山の歴史に焦点をあて、アイデアの開発と今後さらなる情報交換を実施する。

○職員交換派遣においては、我々の責任の範囲内において、専門的分野の職員派遣を隔年ごとに実施する。

○ボランティア組織間において双方の経験やアイデアを互いに分かち合う。

出会い・語らい 住民との交流の輪

訪問団の皆さんが住民との交流を図るため「いながわまつり」に参加。屋外ステージでオーストラリア国歌を会場の皆さんに披露しました。

▼町国際交流協会のテントで、訪問団の皆さんからブーメランづくりを教えてもらう子ども達。（3日：総合公園）

記念式典後の交流会で、猪名川源流太鼓の演奏後にメンバーから太鼓のたたき方を教わり、日本の伝統の響きを楽しむ皆さん（4日：文化体育館）

▲町国際交流協会主催による歓迎昼食会には、約150人が参加。バーベキューやゲームを楽しみながら、和気あいあいと交流を図りました。（2日：仲しいたけ園）

R100 本紙は古紙配合率100%の紙に、植物性大豆油インキで印刷しています